

いばらきサイクルツーリズム構想

～「サイクリング王国いばらき」の実現をめざして～

2019年2月

茨城県

目 次

1	いばらきサイクルツーリズム構想策定の趣旨	1
1.1	策定の背景及び目的	
1.2	構想の位置づけ	
2	本県のサイクルツーリズムを取り巻く現状及び課題	1
3	策定にあたっての基本的な考え方	2
4	推進期間	2
5	目指す将来像	2
6	サイクルツーリズムを推進するためのターゲット及びセグメンテーション	3
6.1	ターゲット	3
6.2	ターゲットのレベルに応じたセグメント分け	3
6.3	各地域の特徴を踏まえたセグメント分け	4
7	サイクルツーリズムの推進に向けたモデルルート（幹線）の設定	5
8	サイクルツーリズムを推進するための主な取組（施策）	5
9	モデルルート図	6

1 いばらきサイクルツーリズム構想策定の趣旨

1.1 策定の背景及び目的

近年では、消費スタイルが「モノ」消費から「コト」消費へとシフトしており、各地域の豊富な地域資源や様々な体験を組み合わせた新たな観光需要を発掘し、地域を巡り、沿線の自然や食などの魅力を体験するサイクルツーリズムの推進による地方創生の取組が活発化しています。

また、本県では、我が国有数のサイクリングコースの一つである「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を核とした日本一のサイクリングエリアの形成に向けた取組は、徐々にその認知度の向上とともに交流人口の拡大や地域の活性化に寄与しつつあります。

こうした中、平成 29(2017)年 5 月には、国をあげて自転車の活用を総合的・計画的に進めるため「自転車活用推進法」を施行し、翌年の平成 30(2018)年 6 月には「自転車活用推進計画」が閣議決定されたところであり、サイクルツーリズム（我が国を代表し世界に誇る「ナショナルサイクルルート」の創設等）の推進による観光立国の実現が、自転車活用の推進に関わる目標の一つとして掲げられています。

こうした流れを踏まえ、本県では、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を活用した地方創生の取組をさらに深化させつつ、県内各地域の特色を最大限に活かしたサイクルツーリズムを全県的に取り組み、地域の活性化等につなげていくため、本県のサイクルツーリズムの推進に係る基本的な考え方などを定めた「いばらきサイクルツーリズム構想」を策定します。

1.2 構想の位置づけ

本構想を推進するにあたっては、茨城県総合計画～「新しい茨城」への挑戦～（4 年間／2018～2021）はもとより、現在、策定中の「いばらき自転車活用推進計画」との連動を図っていきます。

2 本県のサイクルツーリズムを取り巻く現状及び課題

本県においては、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を活用した地方創生の取組が、官民連携の下、着実に進展してきていますが、更なる誘客を図り、稼げる地域づくりにつなげていくためには、情報発信や受入体制の整備など、継続的に取り組まなければならない課題があります。

その一方で、県内各地には起伏に富んだ山々をはじめ、河川や湖沼、海岸線などの風光明媚な自然環境や特色ある地域資源が豊富にあることから、つくば霞ヶ浦りんりんロードでの取組みを全県的なサイクルツーリズムに活かしていくことで、新たな観光創生につなげていける大変優位な立地環境にあります。

3 策定にあたっての基本的な考え方

サイクリングの楽しみ方は、乗る人や目的によって様々であり、それらに応じたセグメント分けをしっかりと行い、ターゲットを明確にし、地域特性を活かした施策をターゲットごとに訴求することにより、サイクルツーリズムの流れを全県へ波及させていきます。

また、施策の推進にあたっては、県だけでなく、市町村や民間企業・団体、さらには地域の様々な主体と適切な役割分担の下、相互に連携しながら取り組んでいくことを基本とします。

4 推進期間

本県の自転車施策に係る最上位計画である「いばらき自転車活用推進計画」の推進期間に合わせます。

2019年度から2021年度までの3ヶ年

5 目指す将来像

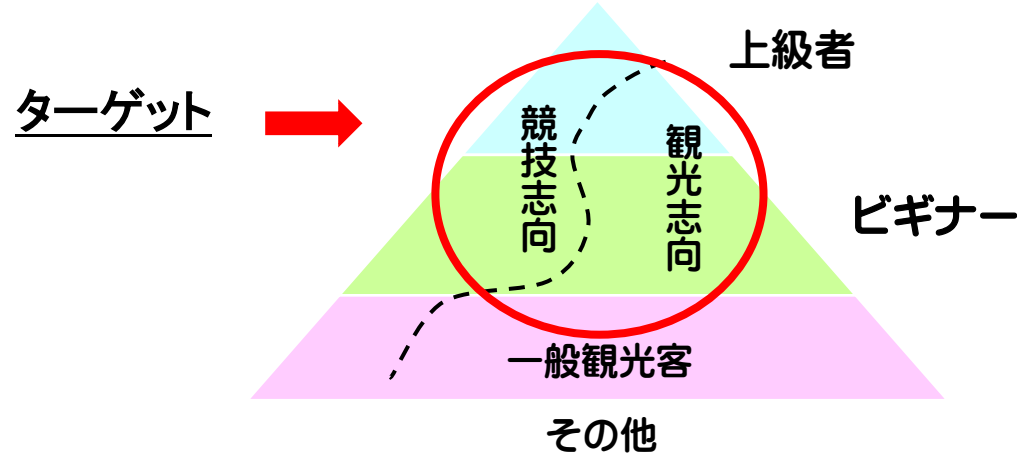
国内外からのサイクリストが何度も訪れたい魅力ある「サイクリング王国いばらき」の実現

東京圏に近く、国内外からのアクセス性に優れた本県が、サイクリストにとってサイクリングの魅力や楽しみを存分に満喫できる地域であることを強力に発信していく。

6 サイクルツーリズムを推進するためのターゲット及びセグメンテーション

6.1 ターゲット

サイクリング愛好者を中心に、体験観光を志向する一般観光客（女性やシニア層等）をメインターゲットとする。



6.2 ターゲットのレベルに応じたセグメント分け

セグメント			自転車活用の主な目的	セグメントの定義
レベルに応じたサイクリング目的	サイクリング愛好家	上級者	<ul style="list-style-type: none"> ● 当地域での本格的なイベント・レースに参加 ● 手軽な練習場として定期的に来訪し、長距離のサイクリングを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリング頻度 → 週に1回、月2～3回程度 ・サイクリングに利用する自転車の種類 → ロードバイク・クロスバイク・MTB
		ビギナー	<ul style="list-style-type: none"> ● ライド系イベント・レースに初参加 (ロードレース、ヒルクライム、クリテリウム、タイムトライアルなど) ● 初めてのロングライドを体験 ● 家族で来訪し、地域の食や自然などを楽しみながら安全なコースをサイクリング 	
	一般観光客		<ul style="list-style-type: none"> ● 「モノ消費」から「コト消費」への消費スタイルがシフトし、様々な体験を組み合わせた新たなサイクリング観光 (地域内の食や地域資源を巡りながらサイクリング) (サイクリングとクルージングなどを組み合わせながら地域を楽しむ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリング頻度 → ほとんどしない、したことがない

6.3 各地域の特徴を踏まえたセグメント分け

セグメント		対象者		
		サイクリング愛好家		一般観光客
		上級者	ビギナー	
地域	県北	<ul style="list-style-type: none"> 山間部におけるヒルクライム MTBサイクリング 	<ul style="list-style-type: none"> MTBライドツアー キャンプサイクリング グルメライド 	<ul style="list-style-type: none"> MTBライドツアー キャンプサイクリング グルメライド 散走ツアー
	県央	<ul style="list-style-type: none"> 歴史探訪ツアー 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史探訪ツアー クルーズ船のオプションツアー(ガイドサイクリング) 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史探訪ツアー クルーズ船のオプションツアー(ガイドサイクリング) 散走ツアー
	県西	<ul style="list-style-type: none"> つくば霞ヶ浦りんりんロードと河川(利根川, 鬼怒川, 小貝川)を組み合わせたサイクリング(広域サイクリング) 	<ul style="list-style-type: none"> 河川(利根川, 鬼怒川, 小貝川)を活用したサイクリングの設定 ガイドサイクリング 散走ツアー 	<ul style="list-style-type: none"> ガイドサイクリング 散走ツアー
	県南	<ul style="list-style-type: none"> つくば霞ヶ浦りんりんロード グルメライド 	<ul style="list-style-type: none"> つくば霞ヶ浦りんりんロード 筑波山 E バイクヒルクライム 	<ul style="list-style-type: none"> グルメライド ガイドサイクリング 散走ツアー
	鹿行	<ul style="list-style-type: none"> B.B.BASE と連携したツアー 海岸線ライドツアー 	<ul style="list-style-type: none"> B.B.BASE と連携したツアー 海岸線ライドツアー 	<ul style="list-style-type: none"> 海岸線ライドツアー ガイドサイクリング グルメライド 散走ツアー

※サイクリング愛好家は、多様なサイクリングを楽しむことを想定。

7 サイクルツーリズムの推進に向けたモデルルート(幹線)の設定

県内各地域の豊富な地域資源を有機的に結びつけた多様なモデルルートを以下の4つの視点にたって県内にモデルルートを4つ設定します(P6参照)。

- ① サイクリストのレベル ② 魅力ある資源をつなぐ ③ ルートごとの特色を反映 ④ 安全・安心、快適性

- ①奥久慈里山ヒルクライムルート：県内最高峰・八溝山の山頂や里山の風景を巡るチャレンジルート(約185km)
②つくば霞ヶ浦りんりんルート：「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を核とした多様な地域資源を巡るルート(約310km)
③大洗・ひたち海浜シーサイドルート：美しく、変化に富んだ海岸線などを爽快に走り抜けるルート(約69km)
④鬼怒・小貝リバーサイドルート：鬼怒川・小貝川の堤防を繋ぐルート(約100km)

8 サイクルツーリズムを推進するための主な取組(施策)

①ターゲットや地域資源のセグメント分けに応じた誘客の仕掛け

- ・ 食や自然、歴史を巡るサイクリング、結婚式やキャンプを組み合わせた自転車旅の提案・推進
 - ・ サイクリングツアー、ガイドツアーの推進
 - ・ サイクリングコース(支線)の設定
- など

②効果的で多様な情報発信

- ・ 首都圏や海外でのサイクルイベントへの出展による国内外での情報発信
 - ・ 女性の発信力を活かしたSNSの活用や雑誌、メディア広告等の活用
 - ・ 全県的なサイクリングマップ制作
- など

③サイクリストの受け入れ体制整備

- ・ 茨城空港や道の駅などの交通結節点におけるサイクル拠点化の検討
 - ・ サイクリストが憩い、くつろげるサポート体制整備
 - ・ おもてなしや観光案内をサポートするサイクリングガイドの養成
 - ・ 主要観光地や駅などにおけるレンタサイクルの導入検討
- など

④自転車走行空間の整備

- ・ 広域的なサイクリングロード(幹線)の整備推進
 - ・ 安全・快適な自転車走行空間(サイン表示)の整備推進
 - ・ 案内誘導看板等の設置推進
- など

※ サイクルツーリズムを推進するうえでの基盤となる走行空間の整備や交通安全対策についてもあわせて行っていく。

9 モデルルート図



(注1) ネットワークを構成する路線は、関係機関との調整等により変動する場合があります。また、今後の自転車利活用の進展に応じて、ネットワークの拡充を図ります。
(注2) 鬼怒・小貝リバーサイドルート(仮)については、別途、鬼怒川・小貝川かわまちづくり推進協議会で計画を検討中であり、ルートを点線表示しています。